

# JA みねのぶ



コープさっぽろ組合員親子脱穀体験で  
精米施設見学 (10月15日)



峰延小学校・南美唄小学校合同脱穀体験 (10月17日)

■発行日/平成29年11月1日/No.1387号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

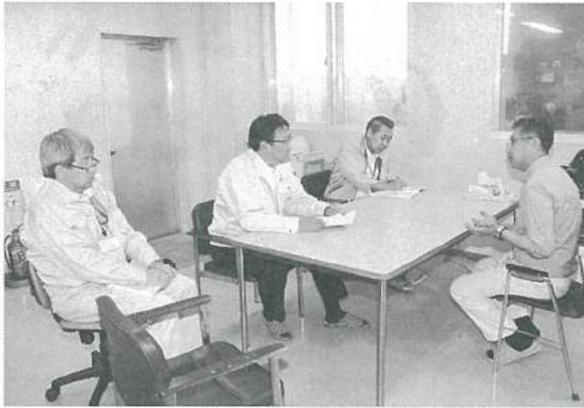
ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

### 美唄市長が水稲収穫状況視察に米施設を訪れる

9月27日、高橋美唄市長と市役所農政課職員ら一行が水稲収穫状況視察で光珠内の玄米ばら集出荷調整施設を訪れました。美唄市長一行は水稲収穫状況視察で美唄市内にある共同乾燥調整施設等4ヶ所を訪れたもので、視察日程の最後に当JAの玄米ばら集出荷調整施設を訪れました。

当JAは常勤理事が諸用で不在であったため篠原課長が対応し、稲刈りの進捗状況や本年産米の作況を説明、高橋市長から作業の安全と主食用米で勝負できるようお願いしていますと激励を受けました。



高橋美唄市長が水稲収穫状況視察で米施設を訪れる

### 9月臨時理事会の開催

9月4日開催の臨時理事会において次の付議事項が決定されました。  
1. 平成29年産米穀に係る概算金単価について

### 第8回(9月定例)理事会の開催について

9月25日開催の第8回(9月定例)理事会において次の付議事項が決定されました。  
1. JA全国監査機構監査の監査結果について

2. 諸規程等の一部改正について
3. 大豆施設施設(第9次地域農業振興計画)に伴う固定資産(土地)の取得について

### 第9回(10月定例)理事会の開催について

10月25日開催の第9回(10月定例)理事会において次の事項が決定されました。  
◇付議事項◇

1. 精米施設の改修工事について
2. 持分の減口について

おみやみ申し上げます

- 杉中 禮子さん (82歳) 10月11日  
岩見沢市峰延町403-3  
渡邊 春夫さん (88歳) 10月17日

美唄市峰延町本町

## 徳報

### 悪因悪果は神明の加護

ある人が言った。私は運が悪いのでしようか。神明の加護がないからでしょうか、思うことなすこと、食い違つてうまく行きません。翁はさとしていわれた。そなたは心得違いをしている。それは運が悪いのではない、神明の加護がないのではない。実は神明の加護があり運が良いのだ。ただ、そなたが願うことと、することとが違ふからいけない。だいたいそなたの願いは、瓜を植えてなすびをほしがり、麦を蒔いて米をほしがるのだ。願うことがうまく行かないのではない。できないことを願っているのだ。それでいて、神明の加護がないとか、運が悪いとかいうのは、間違いではないか。およそ、瓜を蒔いて瓜がなり、米を蒔いて米が実るのは、天地神明の加護なのだ。だから悪事をして刑罰が来、不善をして不幸が来るのは天地神明の加護であつて、ちようど米を蒔いて米が取れるのと同じことだ。それを、神明の加護がないというの間違いではないか。

(夜続二二)

### J A みねのぶ冬期営業時間 (平成29年11月1日～平成30年3月31日)

|              | 平日(月曜～金曜)       | 土曜           | 日曜        | 祝日  |
|--------------|-----------------|--------------|-----------|-----|
| 本部事務所(ビル2階)  | 午前9時～午後5時       |              | 休 み       |     |
| 金融店舗(ビル1階)   |                 |              |           |     |
| 営農事務所        |                 |              |           |     |
| 営農資材店舗       |                 |              |           |     |
| 精米所          | *精米所は毎週木曜日休み    |              |           |     |
| ATM(現金自動預払機) | 午前8時30分～午後6時30分 | 午前9時～午後6時30分 |           | 休 み |
| JA生活店舗       | 午前9時30分～午後6時30分 |              |           |     |
| ホクレン峰延給油所    | 午前8時～午後7時       |              | 午前8時～午後6時 |     |

#### 【ご留意】

\*金融窓口業務(貯金・共済・融資・出納)のうち貯金預払・共済掛金払込・貸出金償還等の現金を伴う業務は、平日(月曜～金曜)の午前9時から午後4時までです。

\*為替送金の取扱いは、平日(月曜～金曜)の午前9時から午後3時までです。

### 冬期営業時間に変更のお知らせ

当JAの営業時間は、11月1日から来年3月31日まで期間、冬期営業時間に変更なり次の通り営業させていただきます。  
変わらぬご利用をいただきますようお待ち申し上げます。



美唄尚栄高校の生徒の皆さん（9月28日）

北村中小屋の奥さんグループ「菜宝箱（さいほうばこ）」で落花生の収穫体験が盛んに行われています。

9月28日は美唄尚栄高校の生徒20名、9月29日はコープさっぽろ組合員活動委員会のリーダー会17名、9月30日はNPO法人にじ色こども食堂30名が収穫体験に訪れました。最初に菜宝箱の新林和江さんから落花生の生産を始めた経緯と菜宝箱の活動内容、落花生を使ったレシピ等を説明、その後には

**落花生収穫体験が盛んに行われる**  
北村中小屋の菜宝箱

ビニールハウス内で栽培している落花生の収穫体験を行います。収穫体験では落花生の株元を手でしっかりと握り一気に引き抜くと土の中から鈴なりの落花生が姿を現しちよつとした感動を受けていました。新林さんが、隣のビニールハウスから「おおまさり」という晩生の品種を引き抜いて見せてくれて、実の大きさが普通サイズの約2倍の大きさで皆さん驚いていました。

収穫後は、昼食で菜宝箱のメニューから落花生を使用した手料理が振舞われ美味しく楽しい時間を過ごしていました。



コープさっぽろ組合員活動委員会リーダー会の皆さん（9月29日）



にじ色こども食堂の皆さん（9月30日）



大粒の「おおまさり」です

**組合員の氏名及び資格変更の手続きについて**

J Aでは組合員の台帳整理を常時行っていて、組合員資格等に変更(氏名・住所、死亡・相続、離農)があった場合は、必ず変更手続きをお願いいたします。変更手続きについてはJA総務課にお尋ね下さい。

なお、当JA事業年度終了の60日前(11月30日)から事業年度末(1月31日)の期間は任意脱退の手続きはできませんのでご了承くださいますようお願いいたします。

また、脱退は毎事業年度末の60日前までに手続きを行っていただくことで、その年度末での脱退となり、お預かりしている出資金をお返しすることになります。出資金は長期的・安定的なJAの運営資金として使用しているため、貯金解約のような即時返金はできません。脱退をした事業年度の通常総会以降の払い戻しとなります。

(JAみねのぶ総務課)



塩ゆでの「おつまめ落花生」を試食

# 農協法公布記念日にあたっての組合員・役員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で70年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

言うまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法と

して極めて重要な役割を担っておりますが、農協法公布記念日を契機に、組合員・役員の皆様と改めて協同組合の原点に立ち返り、その意義と役割についての共通認識を深めたいと考えます。

組合員・役員の皆様には基本的な話になりますが、協同組合は個人あるいは中小の事業者等が共通する目的のために自主的に集まり、その事業の利用を中心としながら、民主的な運営や管理を行う営利を目的としない組織です。協同組合は19世紀にイギリス・ドイツ等ヨーロッパで始まり、世界各地に広がりました。現在では日本を含め世界の多くの国々で多くの協同組合が活動を展開しております。世界の協同組合の連合組織であるICA（国際協同組合同盟）には、現在で100ヶ国以上が加盟しており、関連する組合員数は世界全体で10億人、事業高は29兆円にのぼります。

わが国では、協同組合の組合員数は6、500万人、事業高は16兆円、店舗・施設数は35、600ヶ所もあり、正に地域のインフラを形成している組織と言えます。

協同組合は、民主主義を基礎とした事業運営や活動を通じて、経済的・社会的な側面で人々の生業と生活の向上と課題解決を大きく助ける役割を担っております。例えば安全・安心で豊かな食品と生活に役立つ購買品の生産と供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、広く地域社会に貢献するための様々な社会的取り組み等がその一例となります。そして地震や風水害による大規模災害が発生した際にも、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たして来ております。

このように協同組合は日本の社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきているのです。ユネスコは協同組合の存在価値

を評価し、昨年11月30日、エチオピアのアデイスアベバで開催された無形文化遺産保護条約第11回政府間委員会において、「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」のユネスコ無形文化遺産への登録を決定しました。決定にあたってユネスコは、協同組合を「共通の利益と価値を通じてコミュニティづくりを行うことができる組織であり、雇用の創出や高齢者支援から都市の活性化や再生可能エネルギープロジェクトまで、さまざまな社会的な問題への創意工夫あふれる解決策を編み出している」としています。

また、「無形文化遺産」とは、「世代から世代へと伝承され、文化の多様性及び人類の創造性に対する尊重を助長するもの」とされています。

農業協同組合も農業を生業とする農業者および地域住民の集まりによる協同組合です。北海道農業は開拓以来、親から子、孫へと連綿と受け継がれた国民の健康と命を守るという社会的使命を担って、発展して参りました。合わせて、地域農業の振興は、地域の環境・文化・福祉への貢献を通じて、皆

が安心して暮らせる豊かな地域社会を築いて参りました。

農業協同組合に集う組合員、役員員の皆様はこのように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りとし、協同活動の輪（道民550万人サポーターづくり）を広めて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと引き継がれ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の根幹とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

**大豆乾燥調製施設が操業開始**

峰樺3区にある大豆乾燥調製施設の本年産大豆の受け入れが9月

28日から始まり10月3日から乾燥調製作業を始めました。

当JA管内の本年度の大豆作付は307畝で前年を上回る作付面積となつています。断続的な降雨もあり、天気の間合を見ながらの収穫作業でしたが、10月19日時点で受け入れはほぼ100%となつています。

本年産の品質については、収穫時期に雨天が多かつたため汚粒が多く施設で大豆クリーナーを使用しています。また、全般的に小粒傾向で、施設では生産者に最大限有利となるよう調製に努めています。



大豆乾燥調製施設の作業状況

**大豆の検査始まる**

10月16日、本年産大豆の最初の農産物検査が行われました。検査は乾燥調製を終えた都度に検査を行い、今後5回から6回の検査を行います。

16日は峰樺3区の農産物検査場所で農産物検査資格を有するJA職員4名が検査に当り、11名の生産者の「とよまさり」1445俵を生産者が立会して行われました。



平成29年産大豆の検査状況

**峰延年金友の会**

**パークゴルフ大会開催**

10月2日、峰延農協年金友の会（会長 中西勇夫）のパークゴルフ大会が三笠市パークゴルフ場「サン・パーク」（三笠市岡山）で開催されました。



本大会は、7月4日に続き本年2回目の大会、プレー開始に先立って中西会長が挨拶を述べ、続いてJAの安達常務理事の挨拶、競技の注意事項の説明が行われました。

開催当日は降雨が心配されましたが幸い雨に当たらず曇天で気温の低い日でしたが参加者は熱のこもったプレーをしていました。参加者39名（男性29名、女性10名）は11組に分かれ3つのコースから一斉にスタートしました。優勝者は、男性は夏の大会に引き続き渡辺幹夫さん（峰延東松盛会）、女性には佐藤千江子さん（岩峰こぶし会）で競技終了後に表彰式が行われました。

食育  
コープさつぽろ組合員  
親子が脱穀体験

10月15日、コープさつぽろ農業交流で脱穀体験が行われました。9月24日に稲刈りしはさ掛けしてあった稲の脱穀を行いました。参加したのは13家族37名と生協職員7名。峰樺3区の農産物検査場所に電動ミニ脱穀機3台を設置し、はさ掛けしてあった稲束を持ち込みました。子供たちは、稲束が扱胴（こぎどう）に巻き込まれないように真剣に握り締めて脱穀作業を体験していました。脱穀した後にはミニ臼摺り機で臼摺りし、粗穀



体験参加者から森川組合長に感謝状が手渡されました



精米施設で紙袋に白米を充填

が取れて玄米が出てくる様子を見ていました。農協の担当者から、脱穀機の下部に貯まった粗と臼摺り機から出た玄米を並べて見せられ、いつも食べている白米になるまでの工程の説明を受けていました。

脱穀体験の参加者から当JAの脱穀体験の受け入れに対して森川組合長に感謝の気持ちを込めて感謝状が手渡されました。

脱穀作業体験の次は当JAの精米施設を見学、玄米が白米になる工程の説明を受け、出来上がった白米を小売用の紙袋に充填する作業を体験しました。

食育  
峰延小・南美唄小が合同で  
脱穀の作業体験を行う

10月17日、峰延小学校と南美唄小学校が合同で脱穀作業体験を行いました。脱穀体験はJA青年部（部長 三浦泰来）が中心となつて取り組んでいる食育事業で、5月26日に田植え体験、9月25日に稲刈り・はさ掛け作業体験を実施、はさ掛けしてあった稲を脱穀しました。

参加したのは、両校の児童20名（うち峰延小学校は5年生と6年生7名）で、指導役はJA青年部



千歯こきは力が必要

員13名、峰樺3区にある農産物検査場所の屋根のかかった検査棟で行われました。

作業開始に先立って、三浦部長は「皆さんが、5月に田植え、9月に稲刈り・はさ掛けした米の最終段階の脱穀です。作物を作る大変さと収穫の喜びを体験し、食の大切さを学んでもらえたと思います。」と述べました。

脱穀に使う農機具は、「千歯こき」「足踏み式脱穀機」「電動のミニ脱穀機」の3種類、風で穀類を精選する唐箕（とうみ）、電動の臼摺り機（ミニダップ）が用意



電動脱穀機が一番楽です



唐笠掛けでゴミを飛ばします

され、最初に青年部大西営農専門委員長からそれぞれの機能、使い方、使用上の注意点が説明されました。

3種類の脱穀機と唐箕は全ての生徒が作業を体験し、最後に脱穀で稲束から落ちた粃を粃すり機で粃殻と玄米に分ける様子を見学しました。

脱穀作業は1時間程で完了しました。脱穀後の稲わら等の混じった粃、唐箕掛けした粃、粃摺りした玄米を青年部上島組織専門委員長が見せて、その違いを説明していました。



3種類の脱穀機を全員一通り体験した後は好きな機械を繰り返し体験していました。

最後に、生徒の代表が青年部の皆さんにお礼と作業体験の感想を述べ、「昔の機械の千歯こきは力が必要で大変でした。現在の機械はモーターで動き楽だった。」等と述べていました。

**小林篤一 顕彰公園の冬囲い**

10月18日、美唄シルバー人材センターに作業を委託して公園内の樹木の冬囲いを行いました。



**軽トラ市大盛況**

10月22日午前中、当JA駐車場で軽トラ市が催され、大勢のお客さまで賑わいました。農協向かいの駐車場に生産者自らがこの時期の野菜、花等を軽トラで持ち寄り荷台の上で販売しました。出店した軽トラは5台、JA店舗もこの日の特別価格で秋鮭やほっけ等の魚、白米、柿やりんごの他、いも、玉ねぎを箱売りしました。

穏やかな天気で大勢の買い物に訪れていました。

石狩鍋と新米のおにぎりが無料



さつまいもを販売するポプラ会の皆さん

で振舞われ訪れた皆さんは用意された椅子とテーブルでのんびりと食べていました。

**ポプラ会がさつまいも販売**

10月22日、ポプラ会の部員が自分達で栽培したさつまいもを販売しました。

10月13日に収穫してあったさつまいもを10月22日にJA駐車場で催した軽トラ市で販売しました。品種は「紅あずま」で1・5kg入り1袋が300円、150袋あまりを用意し売りました。

【連載】今こそJA!~その意義と役割~

第7回 JAの販売事業①「委託販売」と「買取販売」

最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとってかわりの深いJAの販売事業について考えてみましょう。

JAの販売事業は、組合員がJAに自ら生産した農産物の販売を委託する「委託販売」の形が主力になっています。JAは委託された農産物を販売し、手数料を差し引いた代金を組合員に渡します。委託販売は同じ種類の農産物をJAの地域全体から集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上のため、農産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進めることができます。こうして全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階につながっていくと全農という形になり、次第に販売力は強化されていくのです。

こうした委託販売は米や生乳など全道規模で大量に取り扱う農産物に向いていますが、販売価格の確定までに時間がかかり、年度をまたぐこともあるといったデメリットがあります。このため、組合員からは農産物を出荷した時点で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農産物の買取にはその時々の価格差といったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しいのが現実です。農産物の特性を考慮しつつ委託販売と買取販売を組み合わせながら有利な販売を展開していく、これがJAの販売事業のあるべき姿ではないでしょうか。



JA北海道厚生連

## 元気生活応援キャンペーン

対象商品ご購入で道産品グルメをプレゼント!

対象商品  
1個ご購入ごとに  
抽選はがきを封入

毎月30名に  
賞品をお届けします

### 対象商品のご案内

**"塗るタイプ"のグルコサミン**

グルコサミンダイレクト

▶こんな方にお勧めします

- スムーズに(活発に)動きたい方
- ふしぶしの動きが気になる方
- 運動で筋肉を使う方
- デスクワークが多い方

気になるところに1日に2~3度、5~10分程度マッサージしながら塗りこむだけ。

<1瓶85g/約1ヶ月分>  
**3,800円(税別)**

1日のおつかれさまに

心休まる贈  
(ひのきの香り)

2種類の温泉成分に5種類の保湿成分で、温まってしっとりお肌。

<1瓶42回分>  
**2,381円(税別)**

おいしく毎日!

ラブレゼリー

▶こんな方にお勧めします

- 腸内環境を整えたい方
- 肌荒れでお悩みの方
- ストレスが多い方

<10g×30包>  
**3,000円(税別)**

おいしい抹茶風味

野菜酵素青汁

▶こんな方にお勧めします

- 食生活が偏りがち
- 生活習慣が不規則
- 便秘気味
- 毎朝スッキリしない

<3g×31包>  
**2,200円(税別)**

商品1個購入ごとに専用はがきを封入し、抽選で毎月30名に賞品をお届けします。  
お求め・お問い合わせは、お近くのJA配置薬師連員にお気軽にご連絡ください。

対象期間 2017年10月1日~2018年3月31日 応募方法 対象商品をお渡しの際に、専用抽選はがきをお渡します。

### 道産品グルメプレゼント

① びらと和牛  
極上バラすき焼き  
700g

② 上干ししゃも  
メス

③ 豚丼の具・  
タレ付2食  
煮込みハンバーグ  
2食

④ 多良の子  
虎杖汁のまごころ  
500g

配置薬師

商品やキャンペーンに関するお問い合わせは JA北海道厚生連 医薬事業部配置薬課 フリーコール 0120-99-4193(無料)・受付時間 平日8:30~17:00

三浦 眞希子: 090-6211-6997

## 准組合員について学ぶ(全4回シリーズ 第3回)

平成26年5月、「規制改革会議\_農業ワーキンググループ」が『准組合員の事業利用は、正組合員の事業利用の2分の1を越えてはならない』との意見を示したことで、准組合員について議論が進められています。今回はこの意見の背景を考えてみましょう。

### 【第3回】規制改革推進会議とは



生徒

「農協改革」を旗印に、准組合員の利用を規制しなさいと言ってくる「規制改革推進会議」ってどんな組織で、ねらいは何なんだろ？

『規制改革推進会議』は総理大臣のアドバイザー的な機関で、議論した内容を総理大臣に意見する組織だよ。農業ワーキンググループは、「農業の成長産業化」を目的に農業関係の規制をテーマに話し合いをしているね。

背景には、信用・共済シェアを奪いたい「グローバル企業」と、「在日米商工会議所」の思惑があるとされているよ。



先生



生徒

クミカン廃止の議論の時もそうだけど、北海道の各地域の実態を無視して東京で議論しているよね。准組合員の利用規制が地域の農業や経済に悪影響を与えるとしたら思えないけど、規制されちゃったらどうなるの？

貯金箱やAコープ・ガソリンスタンドでの准組合員の利用量が、正組合員の利用量の半分を占めているJAで考えてみようか。

新たに町に住む人が、給与振込や家賃引落とし用に貯金口座を作ろうとしても准組合員になれないから、口座開設ができないし、Aコープやガソリンスタンドも利用できないから、食べ物やガソリンが買えないかもしれない。



先生



生徒

ええ！地域の皆さんが、自分の意思でJAを選んで利用するのが、ダメになっちゃった。道内にはJAしか金融店舗やAコープがない地域もあって地域インフラを支えているのに…。何かできることはないかなあ。

JAグループは、地域を守るためにも規制に反対の姿勢を取っているよ。

でも、それだけでは足りないんだ。JAを利用する組合員一人ひとりが、JAが利用できなくなるとどうなるか、ちゃんと自分事として考えて、JAが地域に必要なんだと声を上げないと、このまま規制されるかもしれないよ。



先生



生徒

そうなんだ。僕も自分事としてJAが利用できないとどうなるのが、地域のためにJAが果たしている役割を考えてみるね。

# JAグループ通信:コンサドーレサンクスマッチ特集号 No.16

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。

この度、平成29年9月23日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム(vsアルビレックス新潟戦)を『JAグループ北海道サンクスマッチ』として開催しましたので、会場での各取り組みをご紹介します。

\*サンクスマッチはJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌の連携事業の一環として、道内農畜産物やJAの様々な事業・取り組みを選手やサポーターに知ってもらう大切な機会に位置付けています。チームのJ1定着と、今後の更なる活躍を期待し、オフィシャルパートナーとして応援して参ります。

## JA北海道中央会



JAグループ北海道関連のブースを、札幌ドームにて多数出展し、サポーターの皆さんには、ブースを回るスタンプリヤーや抽選会を楽しんでもらいました。

食と農・JAの魅力を伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP(ジェイエイジャンプ)」のブースでは、インスタグラムした方にてんさい糖(650g)をプレゼントし、大盛況となりました。



## JA北海道信連



JAバンク北海道は、北海道農業やJAバンクに関するパネルを展示し、道内農畜産物やJAバンクの事業等をPRしました。また、このパネルを使って中学生以下の子供達を対象にクイズを出題し、先着400名の回答者に「フエイスタオル」等を配布しました。子供達は真剣にクイズに取組み、「食と農」・「JAバンク」について理解を深めてもらえたと思います。



## ホクレン



ホクレンは「収穫と勝利の喜びで一緒にほじけよう」と、来場者先着2000人に北海道産とうもろこし100%の「北海道ポップコーン(150g)」を配布した他「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者へのPRを行いました。北海道コンサドーレ札幌の石井謙悟、キム・ミンテの両選手が応援に駆けつけ、配布を手伝うとともに、記念撮影や握手にも快く応じ、集まったサポーター達を喜ばせました。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全の呼びかけを行いました。

また、アンパンマンの撮影ブースとガチャガチャを設置し、小さいお子さまにも楽しんでいただき、大盛況となりました。1万7千人を超える来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。



## JA北海道厚生連



JA北海道厚生連は、配置薬課より「野菜酵素青汁(トマトリコピン配合)」の配布を行い、JA配置薬のPRを実施しました。ブースには、前選手も駆けつけ、多くのコンサドーレサポーターの皆様が集まっていたいただき大盛況となりました。今後、北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思っております。

